



Title	新年のごあいさつ 第201号
Author(s)	今田, 光三; 藤井, 睦子; 中谷, 紀久雄 他
Citation	makoto. 2023, 201, p. 2-7
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/89728
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

新年のごあいさつ



一般財団法人大阪防疫協会
理事長

今 田 光 三

新年あけましておめでとうございます。

日頃から何かとお力添えを賜り、本当にありがとうございます。

当協会は、昭和22年5月15日（1947年）に設立され、以来、多くの公益活動と収益事業を通じて、皆様方より暖かいご支援・ご指導・ご鞭撻をいただき、おかげさまで、昨年5月（2022年）で75周年を迎えることができました。

さて、新型コロナウイルスとの戦いは、収束までは至っておりませんが、ワクチン接種も広がり、新型コロナウイルスとの共存社会が形成されつつあります。この新しい社会では、これまでとは異なる新たな生活様式や働き方が求められています。また、SDGsやDX等の潮流も加わり、直面するあらゆる分野・領域でイノベーションが生まれ、新たな価値が創造されています。

また、世界情勢を見渡すと、冷戦終了後30年経った現在においても、ロシアのウクライナ侵攻により、人道を無視した戦闘が日常的に行われている現状は、理解しがたいとしか言いようがありません。

この侵攻を発端に地政学リスクが顕在化し、資源・素材価格の高騰やサプライチェーンの見直しにまで発展してきております。

国内外とも激動の時代、厳しい環境には置かれておりますが、私どもは、10年後、20年後の未来を見据えて、新しい時代のニーズにお応えするために、人々の健康で快適な暮らしに奉仕する公益法人設立当初の目的の実現に向け、積極的に民間の知恵と財源を集め、また技術者集団として高いレベルを保ち続け、精力的かつこれまで以上に社会に貢献すべく努めてまいりますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

新年のごあいさつ



大阪府健康医療部長

藤 井 睦 子

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会におかれましては、益々御清祥のこととお慶び申し上げますとともに、日ごろから大阪府の健康医療行政に格別の御支援、御協力をいただき、心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症への対応については、皆さまに多大なご協力をいただきながら、感染拡大の防止に全力で取り組んできました。昨年は感染力の強いオミクロン株の流行により高齢者施設で多数のクラスターが発生しました。その教訓を生かし、感染対策を含む高齢者施設への支援を強化するため、「大阪府高齢者施設等クラスター対応強化チーム（OCRT）」を設置しました。また、「高齢者医療介護臨時センター」の設置や頻回検査、ワクチンの4回目接種にも力を入れてきました。大阪府ではリスクのある高齢者等への対策を強化し、リスクのない若年者は自己検査による自宅療養を中心とした対策にシフトしております。引き続き、府民への感染防止対策（3密の回避、マスク着用、手洗いこまめな換気等）の徹底と、ワクチン接種の推進に努めてまいります。

今後、新たな未来を切り拓くシンボルとなる「2025年大阪・関西万博」を控え、新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえた上で、感染症に強いまちを目指していきます。

貴協会がこれまで培ってこられた専門的知見は、感染症の発生予防やまん延防止対策にあたり非常に心強いものであり、大阪の安全・安心の確保に向け、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々の御発展と皆様方の御健勝をお祈りいたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



大阪市健康局
生活衛生担当部長

中谷 紀久雄

あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様方には、健やかに新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

貴協会の皆様方におかれましては、平素から環境衛生行政をはじめ大阪市政の各般にわたり格別の御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、貴協会におかれましては、防疫に関する知識の普及啓発に日頃から取り組まれており、その社会貢献に対して深く敬意を表する次第であります。

さて、今般、新型コロナウイルス感染症に加え、国際情勢の変化に伴う原油価格や物価の高騰などが、市民生活のみならず、社会、経済など多方面にわたって、甚大な影響を及ぼしています。社会経済活動の制限が段階的に緩和されてきたことなどにより、景気動向は持ち直しの動きが見られるところですが、新型コロナウイルス感染症の影響など今後の動向には引き続き注意し、感染拡大防止に努める必要があります。

貴協会が永年にわたり培ってこられた豊富な知識や経験は、大阪市としても非常に心強く、今後とも、市民の安全・安心の確保に御尽力いただくとともに、専門的な見地から公衆衛生の向上に寄与いただくことを期待申し上げます。

大阪市といたしましても、新型コロナウイルス感染拡大の防止、市民生活への支援及び2025年大阪・関西万博のインパクトを活かしながら大阪経済の再生を進め、コロナを乗り越えた先にある大阪の成長・発展を確たるものとし、日本の成長をけん引する東西二極の一極として、世界に存在感を発揮する「副首都・大阪」の確立・発展をめざしてまいりますので、皆様方の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、一般財団法人大阪防疫協会の今後ますますの御発展と会員の皆様方の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げまして、新年のあいさつといたします。

新年のごあいさつ



堺市健康福祉局
保健所次長

藤川 桂 祐

新年あけましておめでとうございます。

今田理事長をはじめ一般財団法人大阪防疫協会の皆様方には、健やかに2023年の新春を迎えられ、益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。平素は、本市保健衛生行政の推進に格段のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年新型コロナウイルス感染症は、特にオミクロン株の出現により全国で猛威を振るい、また、経済面においては原油をはじめとした物価高騰などにより、市民生活は多大なダメージを受けました。そのような中、本市では新型コロナウイルス感染症対策として、医療関係者の皆様のご協力もいただき高齢者施設等や自宅で療養する患者への往診体制を整備し、民間救急事業者との連携により患者搬送体制の強化を進めるとともに、市民へのワクチン接種を速やかに実施しています。また、LINEコロナ相談及びWEBコロナ相談を開設し、新型コロナウイルス感染症に関する市民の不安や疑問の早期解消に努めています。一方、市民への経済支援策として、一定期間水道基本料金の免除や学校給食の無償化を行う等、様々な対策をとってまいりました。今後も、庁内一丸となって対応してまいります。

さて、本年は、大阪府、堺市においてG7貿易大臣会合が開催されることとなっております。世界各国から多くの来賓の方が来れることが予測され、それらの方々や市民の健康、安心・安全の確保を図るため、感染症対策をはじめ、より一層の取組を進めてまいります。

貴協会におかれましては、これまで培ってこられた防疫対策などに関する豊富な知識、経験、高度な技術を発揮され、今後とも本市の保健衛生行政の推進に、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、一般財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と、会員の皆様のご活躍とご健勝、ご多幸を心よりお祈りいたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



東大阪市健康部長

田 中 健 司

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。旧年中は、本市の保健衛生行政推進に格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

2019年以降依然として新型コロナウイルス感染症により経済活動や生活様式など様々な分野において多大な影響が続いています。昨年は、療養期間の短縮や濃厚接触者の健康観察期間の短縮など、感染拡大防止と社会活動の維持を両立させるための見直しがありました。また、オミクロン株の特性を踏まえて、高齢者等重症化リスクの高い方を守るため、感染症法に基づく医師の届出の対象を4類型に限定し、保健医療体制の強化、重点化を進めるなど「Withコロナ」に向けた新たな段階へ移行しました。今後訪日外国人観光客も増加することが見込まれることからデング熱等、他の輸入感染症についても対策を徹底してまいります。

さて、本市では11月に大阪・関西万博の開催に向けた機運醸成イベント「HANAZONO EXPO」を開催いたしました。これからの新しい生活様式や価値観、最先端のデジタル技術や今後活躍が期待されるテクノロジーなど、ワクワクする未来の生活を見て触れて体験することができました。大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会」を目指し、引き続き各関係機関と連携し、市民の皆様の生命と健康を守り安心して暮らせるよう取り組んでまいります。

貴協会におかれましては、永年にわたり培ってこられた豊富な知識や技術を遺憾なく発揮され、今後とも本市の保健衛生行政の推進に引き続きご尽力賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、一般財団法人大阪防疫協会の今後益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



高槻市健康福祉部長

根 尾 俊 昭

新年明けましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、旧年中は、本市の保健衛生行政の推進に格段のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

国内における新型コロナウイルス感染症の発生から3年が経過しようとしています。本市保健所では、受診相談体制の整備や医療体制の拡充に取り組むとともに、人員の確保など保健所の体制強化に努めてまいりました。引き続き、関係各機関と連携を図りながら、市民の生命と健康を守るため、感染症対策に全力で取り組んでまいります。

さて、本市では、昨年7月、大阪府三島救命救急センターの三次救急機能が、高度な医療機能を備える大阪医科薬科大学病院に引き継がれました。また、本年4月には、初期救急を担う高槻島本夜間休日応急診療所が移転し、新たな施設、設備の整った診療所としてリニューアルいたします。初期救急から三次救急までが揃った、本市の救急医療の特徴を活かし、今後とも医療体制の充実に取り組んでまいります。

一方、本市は本年1月に市制施行80周年、4月には中核市移行20周年を迎えます。高槻市保健所としても開設20周年の記念すべき節目の年となります。今後、より一層の健康危機管理体制の充実・強化を図るとともに、市民の健康を増進し、安全で安心して暮らせる環境を確保するため、なお一層の努力を重ねてまいります。

貴協会におかれましては、永年にわたり培ってこられた防疫活動に関する豊富な知識や高度な技術により、今後とも住民の安全・安心の確保にご尽力いただくとともに、本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びとなりますが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



豊中市健康医療部長

松岡 太郎

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、一般財団法人大阪防疫協会の皆様には、益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、本市保健衛生行政の推進にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

2022年は、年始早々に第六波が到来し、その収束をはっきりと見出せないところ、6月下旬から、より大きな第七波の出現に至りました。「無料検査」、「検査センター」、「みなし陽性」そして「全数把握の見直し」などがキーワードとなったと思います。保健所としては、『ウイズコロナを念頭に、新型コロナウイルス感染症対応業務と従来からの業務とをどのようなバランスで行っていくのか』という大きな宿題をいただいた一年でした。この間の住民の皆さまと関係団体の皆さまのご理解とご協力に感謝を申し上げます。

2023年は、ウイズコロナに留まらず、アフターコロナを見据えた事業をさらに加速させることが必要です。豊中市保健所の予備的な調査でも、新型コロナによる巣ごもりの影響か、高齢者だけではなく40歳代や30歳代まで心身の不調が広がっていること、そして“フレイル予備軍”が若い世代まで広がっていること、を確認しています。この新型コロナという一種の“災害”から、住民の健康をしっかりと“復興”させる必要があります。住民の健康と安心・安全を守るため、職員一丸となって職務に励みたいと思います。

貴協会におかれましては、永年にわたり培ってこられた防疫や環境衛生対策に関する豊富な知識と経験、高度な技術をいかに発揮され、本市の保健衛生行政の推進に、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、一般財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



枚方市健康福祉部長

林 訓之

新年明けましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、健やかに佳き新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の保健衛生行政の推進にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本市としては、新型コロナウイルス感染症の発生以来、枚方市新型コロナウイルス対策本部を2020年1月に設置し、医療機関をはじめとする関係団体と連携した体制の整備、庁内のBCPや応援体制の構築など一層の体制強化を図るとともに、市民の皆様方に対しては、コロナウイルスワクチン接種の促進と同時に、基本的な感染症対策として、マスクの着用、手指消毒、室内の換気など環境整備、ソーシャルディスタンスの維持等のご協力をお願いしてまいりました。

昨年の新型コロナウイルス感染症発生状況は、オミクロンの変異株である「BA.5」の流行により、第7波がかつてない規模で拡大し、多くの感染者や濃厚接触者が発生いたしました。ところが、重症化率は低下しており、感染者の多くは入院を必要とせず自宅療養で改善されました。

このことから、今後は「ウイズコロナ」を見据え、基本的な感染症対策は継続しつつも、社会経済活動の継続に対策の力点をシフトさせる施策が必要となってくると思われます。

最後に、本市におきましては、市民生活や市内の経済活動を支援し、「暮らしたくなるまちづくり」に取り組んでまいります。

貴協会におかれましては、様々な危機事象に際してもこれまで培ってこられた豊富な知識、経験と高度な技術を遺憾なく発揮され、今後とも本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



八尾市健康福祉部長

當 座 宏 章

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、旧年中は、本市保健衛生行政の推進に格段のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルスが第6波、第7波と大流行し、本市保健所におきましても感染拡大防止のため、市民等の方々に対し、新型コロナウイルスに関する症状等の相談、発熱外来の案内、ホテル療養や入院の調整、配食サービスの案内、積極的疫学調査や施設指導の対応等について、応援職員を増員して全力で取り組んでまいりました。

また、昨年は長期化するコロナ禍に加え、原油価格・物価高騰等の影響を受けるすべての市民に光を当てる取り組みとして、本市独自の支援策として市民1人あたり5,000円を支給する八尾市民応援給付金事業を実施いたしました。

さらに、市民のみなさんの主体的な健康づくりを地域と行政が協働して支えるための指針となる「八尾市健康まちづくり計画」を策定いたしました。この計画では「みんなの健康をみんなで守る市民が主役の健康づくり」を基本理念とし、「健康寿命の延伸」「健康コミュニティ（※）づくりの推進」を基本目標として設定し、八尾市健康まちづくり宣言のもと、市民は主体的に健康づくりに取り組み、地域、事業者、関係機関、大学等の研究機関との連携のもとで、本市はその環境づくりを推進してまいります。

貴協会におかれましては、今後とも本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



寝屋川市健康部長

藏 守 利 彦

新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。また、旧年中は本市の保健衛生行政の推進に格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年も新型コロナウイルス感染症への対応に終始した1年となりました。これまで経験したことのない新規感染者数が確認され、日常生活や経済活動などにも大きな影響を及ぼす中、本市では、様々な感染拡大防止対策に取り組んでまいりました。引き続き、保健所が中心となって、市民の皆様の生命、健康、生活を守り、一日でも早く普段の暮らしを取り戻すことができるよう、感染防止対策の取組を進めてまいります。

新型コロナウイルス感染症対策以外では、中核市として初めての試みとなる医療機器使用患者のレスパイト（休息）入院に対する費用助成を開始しました。人工呼吸器などの医療機器を使用しながら在宅で療養している難病患者は、災害時に避難所へ避難する際に、医療機器の機械音などを理由に他の避難者に遠慮したり、移動に対して不安があることなどが、本市で実施した調査でわかりました。高度な医療的ケアや医療機器の持ち運びの難しさなどから、災害発生時には緊急避難先として後方支援病院への入院が必要となる可能性が高くなります。そのため、平常時に入院にかかる個室代や移動のための介護タクシー代などを助成し、難病患者に前もってレスパイト入院を経験していただくことで、災害発生時に病院への円滑な避難につなげていただくことを目的としております。今後も市民生活に寄り添い、市民の皆様が安全、安心に暮らしていけるよう努めてまいります。

貴協会におかれましては、長年にわたって培ってこられた防疫対策などに関する豊富な知識や高度な技術を遺憾なく発揮されますとともに、今後とも本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会のますますのご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



吹田市健康医療部長

梅 森 徳 晃

あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様方におかれましては、健やかに新年を迎えられましたことを心よりお喜び申し上げます。

旧年中は本市の健康医療行政の推進に格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症への対応は続いておりますが、昨年はWithコロナに向けた新たな段階を迎え、本市としましても感染拡大が生じて、一般医療や救急医療等を含む保健医療システムを機能させながら、社会経済活動が維持できるよう、各関係機関とも連携し感染対策に努めてまいりました。

保健所では、事務処理センターの設置や自宅療養者の夜間緊急対応業務の委託など、体制強化を図りながら、保健所が果たすべき業務の構築を行っており、今後も市民の皆様が安心安全に暮らしていけるよう努めてまいります。

また、昨夏、市内で、不発弾が発見され、その撤去作業に伴う対応をしました。保健所としては避難対象区域内の新型コロナウイルス感染症患者等のリストアップを行い、自宅療養の陽性者に宿泊施設での療養を勧めるとともに、陽性者や濃厚接触者のための避難所を開設いたしました。これらの準備を滞りなく行うことができましたのは、保健所独自のブラインド型防災訓練の経験があったからだと感じております。

今後、想定される南海トラフ地震等によどのように対応するかが課題となっておりますが、今回の事例を教訓に、新興感染症も想定しながら、災害時に十分に対応できるよう努めてまいります。

貴協会におかれましては、長年にわたり培ってこられた豊富な知識や技術を遺憾なく発揮されますとともに、今後とも本市の健康医療行政の推進に御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、貴協会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



一般財団法人
阪大微生物病研究会
理事長

山 西 弘 一

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、健やかに新春を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は当財団のワクチン事業への格別のご理解とご高配を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

昨年は政治面でも経済面でも世界的に変動の大きな1年でした。一方で感染症分野では依然としてCOVID-19が世間の関心を集めておりますが、その話題の陰にRSウイルス等の小児感染症の国内流行が起こったことも見逃せません。さらに海外の一部では、ポリオが大きく話題となりました。

ポリオはWHOによる根絶計画が推進されています。かつて100を超えたポリオ常在国も現在は残すところ2ヶ国となり、根絶まであと一歩です。根絶にはワクチンが不可欠ですが、ポリオワクチンには大きく2つの種類があり、日本を含め多くの国では不活化ワクチン（IPV）が用いられている一方、一部の国ではウイルスを弱毒化させた経口生ワクチン（OPV）が現在も使用されています。しかしながら、OPVは接種後、体内で弱毒ウイルスが増殖する過程で、ごくまれに野生株のように強い病原性を持つ「ワクチン由来ポリオウイルス（VDPV）」に変異することがあり、その一部が体外排出され下水道などに流入することが問題となっています。昨年、このVDPVによるポリオ患者（ポリオワクチン未接種）が米国で約10年ぶりに発生しました。また英国でもロンドンの下水からVDPVが検出され、小児に緊急追加接種が実施されました。このように野生株根絶後もVDPVの感染リスクがあることから、日本を含めたポリオ根絶済の地域でもIPV接種は大変重要です。

当財団は本年も、IPV含有の4種混合ワクチンをはじめとする各種ワクチンの供給を通じて感染症対策に貢献してまいります。

結びにあたり、貴協会の益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。